

駿河台に来てみる?

学会本部などがあった駿河台記念館が建て替えられ、新たにロースクールとビジネススクールの2つの専門職大学院などが入る駿河台キャンパスとして2023年3月にオープンしました。我々には多摩世代にとっては駿河台はあまり馴染みがありませんが、都心に出たついでに覗いてみてください(写真/幹事長・柳)。



1階受付。上はラウンジ



ニコライ堂を望む



最上階19階はレストランフロア



91.38mの外観

新支部長挨拶



葛西 充(法・政)

白門58会々員の皆様、お元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。コロナの感染者数もだいぶ減り、マスクの着用も原則任意となりました。私の地元神田の5月のお祭りも、4年ぶりの開催に向け準備が進められています。このような状況を踏まえ当会も少しずつ対面の活動を増やしていければと考えております。

ところで、今年は多くの方々にとって卒業40年の年にあたります。会の総力を投じて祝賀パーティーを盛大に行うというのはさすがに時期尚早ですの

で、次回の会報で40年の特集を組むことにいたします。後述の通り「卒業後40年間のあなたの重大ニュースの投稿」を大募集しますので、ちょっとしたエピソードでも結構です。ぜひお送りください。

なお2023年度の総会は7月に予定をしております。今の状況が続けば今回は対面での開催ができるかと思っております。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

引き続き白門58会を、どうぞよろしく申し上げます。

同期・同窓インタビュー

還暦で司法試験合格 勤め人時代の経験を 活かして独立



加藤法律不動産鑑定事務所
弁護士 不動産鑑定士

加藤 隆氏

昭和58年法学部政治学科卒

かとう・たかし 1960年1月26日、神奈川県横浜市生まれ。県立川和高校から中央大学法学部政治学科へ。2020年3月、専修大学法科大学院修士課程修了。同年、司法試験合格（75期）。2022年、弁護士登録。神奈川県弁護士会所属。

「同期が還暦で司法試験に合格した」という話が飛び込み、早速、インタビューを試みた。人生100年時代、頼もしい仲間の話題をお届けする（聞き手は、白門58会支部長・葛西充、同事務局長・中川順一）。

県庁の様々な部署をまわり 不動産に行き着く

—— まずは、還暦で司法試験を受験し合格に至った経緯から教えてください。

加藤 大学で地方自治を専攻していたので地方公務員を志望していました。地元の横浜市を受けたのですが採用してもらえず、結局受かったのは東京国税局だけ。国税専門官というのになったのですが、合わないかと1年半ぐらいで辞めました。それでやはり地元の自治体がいいと神奈川県庁を受けて採用してもらいました。その時26歳になっていましたから、それから33年間務めました。

県庁ではいろいろな部署に回されました。最初は水道局で料金計算の担当。次は女性センターで女性の人権や地位向上のための仕事。次は能力開発課という職業訓練校の部署で、その次が消費生活課で消費者保護。そしてその次が空港担当という部署。空港担当というのは、2000年頃、第4滑走路ができるまでの羽田空港はパンク状態で、首都圏第3空港建設という話があって、そのために国や他の都県と検討調整していくという部署です。神奈川県には民間空港がないし、県としては空港を誘致しようということではなくて、羽田の国際化を進めたいという思惑がありました。当時、成田は国際線、

羽田は国内線という棲み分け。神奈川県民からすると成田はめっちゃくちゃ遠い。羽田が国際化すれば県民の利益に資するという立場でした。その後、羽田は国際線も飛ぶようになりますが、44歳ごろに次の部署、土地水資源対策課に行き、その後は土木事務所などにも配属されました。これらは不動産分野と言える仕事で、辞めるまでこの分野にいました。

土地収用などの仕事で必要だからと不動産の勉強をしようと思ったのですが、そこで不動産鑑定士という資格があることを知り、ちょっと勉強してみようかと思ったわけです。

49歳で不動産鑑定士の試験は合格したのですが、資格を取るためには実務実習が必要だという。これが全部で100万円ぐらいかかる。ちょうど子供の大学とかでお金がかかる時期でしたからそれが済むまで待って、55歳で資格を取りました。そうすると定年まであと5年ですからね。それで、もうちょっと難しい資格に挑戦しようかと司法試験に挑戦したわけです。

勤めをいつでも辞められるように 資格の勉強をした

—— 学生時代から司法試験やほかの資格試験に関心があったわけですか。

加藤 学生時代は特になかったですね。何か資格を取りたい

と思うようになったのは勤めてから。それも、少し経ってからですね。務めていれば嫌な上司にもあたりますし、理不尽なこともあるわけです。ふざけるなど辞表を叩きつけてやりたいこともあります。女房子供がいればそう簡単に辞めるわけにはいかない。辞めても食っていける何かを持っていたいと思うようになったわけです。実際は、資格があれば食えるということではないでしょうが、ないよりはいい。とにかく辞表を書く覚悟はできるだろうと。

結果的に不動産鑑定士の資格を取りました。この資格は県庁での仕事を通じてどんな仕事かが少しわかっていましたから、定年したら独立してやってみようと思ったわけです。

司法試験は不動産鑑定士の勉強をした延長でもう少し法律の勉強をしてみたいという感じで始めて、予備試験も受けましたが、とてもとても手に負えませんでした。合格するには法科大学院に行かねばと思いましたが、修士2年間だけでも200~300万円はかかります。それは無理だと思いましたが、いろいろ調べると専修大学のロースクールで、諸々の条件をクリアするとほぼタダで行けるという。これはいいと思い受験して58歳でロースクールに合格し、上司に相談して思い切って早期退職したわけです。

修習生同期では最年長ではなく 年上の司法試験合格者がまだいた

ロースクールに入学してみると勉強はなかなか大変で、2年間勉強している間、不動産鑑定士は開店休業状態でした。もっとも、勉強しながらも司法試験に合格できるとは思っていませんでした。とても難しいですから。でも、先生方が本当に熱心でね。学部が中大法学部と言うと、まわりは「へー」と言います(笑)。

そういう感じで勉強していて、それで試験を受けたら通った。自分では自信がなかったですから、意外というか。それで横浜修習で司法修習を受けたのですが、周りは若い連中ばかりで私が最年長だろうと思っていたら、なんと私よりも年上の人がありました。日立のエンジニアを退職した方で、理系から司法試験を受けて合格するんですから、すごいですね。

修習生を終えたものの、不動産鑑定士と弁護士の両方の資格を持っていることでどのようなことができるかなどについては、まだまだ皆さんにお話できるようなことはありません。それに、不動産鑑定士と弁護士資格を持っている人というのは少なく、神奈川県弁護士会でも私の他に1人ぐらい。不動産鑑定士の仕事はいくつかもう来ていますから、当面はそちらが中心でしょう。弁護士としてはまだ経験がありませんからこれからですね。先輩の先生方にいろいろ教わったり、国選弁護人なども引き受けていこうと思っています。

中国語の恩師との出会い。 家族の理解に感謝

—— それにしても、勤めながら資格試験の勉強を続けるのは大変ですよ。

加藤 不動産鑑定士の勉強を始めたのは土木事務所勤務になった頃で、横浜から毎朝、小田原方面への通勤。通勤ラッシュの逆の列車なので往復座ってられる。そこで勉強しました。

仕事をしながら勉強をする習慣というのは、就職した直後からの中国語の勉強で鍛えられました。県庁に入った直後、横浜市の市民講座で中国語の講座がありました。第2外国語が中国語だったので、もう少し勉強しようかとちょっと覗いたんです。するとその先生がとてもすごいというか、講座がとても面白い。まさに衝撃的な出会いだったと思います。講座自体は1年間で終わってしまうのですが、その時の受講生が何人か集まって、引き続き先生に教えていただくということになった。立派な先生なんですけど、講義はとてもハード。しっかり予習していかないとダメという勉強会。この先生について22年間勉強しました。

勉強を続けていたら、先生が急に「俺、中国に行く」と。それで勉強会が中断し、今まで一生懸命やっていたのがまかんと空いてしまった。それで何かを考えた時期と不動産について勉強しようと思った時期が一緒で、それで不動産鑑定士の勉強になったわけです。先生は5年間ぐらい中国に行っていて、帰国したらすぐに亡くなられてしまいました。お元気なら、私はまだ中国語の勉強をしていたでしょうね。中国語を勉強するために大学に入り直したいと思ったぐらいですから。

いずれにせよその先生との出会い、その先生の中国語の勉強会がなかったら、不動産鑑定士にも司法試験にも挑戦しようなんて思わなかったでしょうし、勉強も続かなかったでしょうね。とても感謝しています。

感謝と言えば、勉強が続けられたのはやはり家族の理解があったことでしょうね。土日は部屋に籠って勉強ということもありましたが、妻から特に何か言われることもありませんでした。もっとも、妻が内心どう思っていたかわかりませんが(笑)。私はとても感謝しています。司法試験に受かった時は喜んでくれましたし、子供も「すごいじゃん」って言っていました。

こんなふう定年後の年代を迎え、新しい仕事に取り組んでいけることは幸せだと思っています。先ほども言ったように、不動産鑑定士としても弁護士としてもまだ新米ですから、こんな仕事をしたいなどと大きなことは言えません。でもせっかく取った資格ですから、やはり生まれ育ち、また仕事をしてきた地元・神奈川県に役に立つ仕事をしていきたいと思っています。

同期・同窓インタビュー



親子2代でオリンピック 指導者として活躍し アスリート支援会社を設立

株式会社エクストリーム・スポーツ
代表取締役

江村 宏二 氏

昭和58年経済学部国際経済学科

大分県出身。高校2年生の頃、上京した際に偶然見たフェンシングに興味を持ち我流で始める。フェンシングが強い中央大学を志望し一般入試で入学。1988年ソウル五輪日本代表選手。種目はフルーレ。引退後は指導者として日本代表のコーチ、監督、JOCナショナルコーチを歴任。代表を務めるエクストリーム・スポーツはスポーツ指導やアスリート支援を目的とした企業。https://www.exdream-sports.com

“ 国際フェンシング連盟の世界ランキングで1位となった女子サーブル江村美咲選手の父は、同期・昭和58年卒の江村宏二氏。自身もかつてフェンシングの日本代表で長く指導者を務めていた。オリンピックを育てた江村氏に現役時代、引退後、そして現在について、中央大学学員時報のインタビュー取材（2023年4月号）に補足して話を聞いた。（聞き手、白門58会事務局長・中川順一）。

「やらされて」練習しても 強くならない

——娘さんの美咲選手、世界選手権で優勝したり、ミス日本の特別顕彰も受賞するなどすごい活躍ですね。

江村 以前、美咲は江村宏二の娘と言われましたが、今はどこへ行っても、私が「江村美咲のお父さん」と紹介されるようになって、ちょっとショックですけど(笑)。世界選手権優勝など、私自身がフェンシングで目指していた以上のことを頑張ってくれています。ミス日本の顕彰は社会的に活躍する女性に対して主催者から贈られるという賞でしたが、これを機にフェンサー、フェンシングに興味ある子供たちが江村美咲に憧れ、江村美咲を目指してもらえるようなきっかけになるといいなと思っています。

親子で日本代表とかオリンピックと言われますけれど、我々の頃と今の日本のフェンシング界ではレベルが全然違います。我々はインカレや国内大会で勝つことを目標にしていますが、美咲たちは常に世界で戦っていて、しかも成果を挙げていますから。

——奥さんもフェンシングの選手だったと聞いています。娘さんがフェンシングを始めたのは、やはりお父さ

んお母さんの影響ということですか。

江村 本人も他のインタビューで話しているように私たちが無理にやらせたということはありません、親が強制したって強くなるものではありません。これはまさに私の経験から言えることです。

私は、高校2年生の頃、上京した際に偶然見たフェンシングに興味を持ち我流で始めました。インターハイにも出ましたが結果は残せなかった。それでフェンシングが強い中央大学を志望し一般入試で入学。入部したときは、インターハイのトップクラスの選手もいて、彼らに交じって練習できるのがうれしかったですね。入部当時は力の差がありましたから、自分も強くなりたいと必死で練習して2年でユニバ代表に。練習をすればするほど強くなると思っていましたから、部の練習以外の時間にもやりました。ところが、高校の強豪校で有力選手だった者の中には、練習は先輩やコーチの見ているところでしかやらない者もいる。やらされてやっているんですね。私は自分が強くなりたいから自分の意志で練習をしていた。だから「やらされている」感の選手たちを1年もしないうちに追い抜いてしまいました。

これは指導者になってからのことですが、指導の勉強にフェンシングの本場のフランス・パリの道場に著名な指導者を訪ねたことがあります。大きく広い施設で、子供から大人

まで、さまざまなクラスの人が通ってきています。そこで話を聞いているとき、子供たちが来て挨拶して、その後彼らはフェンシングの練習はせずにボールで遊んでいる。そして遊び終わるとまた挨拶して帰っていくんですね。指導者に練習はさせないのかと尋ねると、本人たちが練習したい、教えてほしいと言ってきたら指導すると言うんですね。やりたいと言わない子に教えてもダメだから、と。なるほどと思いました。

私自身、もともと不合理なこと、不要なことはやらない方がいいと考えるたちでしたから、すぐに納得しました。学生時代も、運動部というのはいろいろ不合理なことが多いものですが、私が3年でキャプテンになった時は、丸刈り強制や部や寮の中の不要なルールはどんどん廃止しました。

もっとも選手時代の私はひたすら練習をすれば強くなれると考えていましたが、それも必ずしも正しくなかったかもしれません。最近の選手は練習するときはみつちりやって、休むときは競技からまったく離れて休む。美咲もそんな感じで良い結果を出しています。

アスリートを応援するために 55歳で起業

—— 現役引退後は指導者となり、そして会社経営をはじめられました。どんな仕事をされているのですか。

江村 スポーツ指導や選手強化のコンサルティング、スポーツイベントの企画運営など、スポーツ振興に関わるさまざまなことを手掛けています。目的は、フェンシングも含めたアスリートが、スポーツで食べていける世界を作ることです。ス

ポーツの世界で食べていくことができるはごく限られた人しかいませんし、引退後はもっと限られています。アスリートとして活躍した人がその能力を活かしていける世界を作りたいと、55歳の時に会社を立ち上げました。フェンシングに関しては初心者から指導して、世界に通じる選手を育て上げることが夢です。まずはフェンシング人口を増やしたいですね。まだ小さな会社ですが、社員に給料を払っていかねばなりませんから毎日頑張っています(笑)。

—— OBとして中央大学や同窓生、後輩に伝えたいことは。

江村 2021年の東京オリンピックには中央大学のフェンシング部出身者から3人のオリンピックが生まれました。ひとつの大学の部から3人が出ることはなかなかありません。でも、大学スポーツとしてはマイナーなのか、中大OBでも母校のフェンシングがこれだけ強いということは知らない人が多い。もっと知ってほしいですね。

大学に対しては、駅伝もいいですが、成果を出している他の部への予算配分、推薦枠などももっと考えてほしいですね。他の有名で伝統ある部にも親しい後輩がいますから、フェンシング部の方が少ない予算で良い結果を出しているぞと言っています(笑)。他大学では予算配分に成果主義を取り入れているところもあるようですね。

そうは言っても、中大フェンシング部が世界をめざす選手を輩出してきたのも、大学や卒業生たちの支援、強化プロジェクトによってできたことだと思います。今後も応援してもらえるような実力、人間性を持った選手が出ることを期待しています。

えむら みさき プロフェンサー 江村 美咲氏

小学校3年生の時にフルーレを始め、12歳でサーブル大会に優勝し、同種目に転向。大原学園高等学校から中央大学に進学。2020年に法学部を卒業後、21年に東京五輪出場、22年7月の世界選手権女子サーブル個人で日本人の女子として初の金メダルを獲得。23年2月に発表された国際フェンシング連盟の世界ランキングで1位に。母の孝枝さんも1997年の世界選手権工ペのフェンシング日本代表選手として世界選手権に出場経験がある。1998年生まれ。大分県大分市出身。



※江村宏二氏・美咲氏の父娘インタビューはホームページ「学員時報オンライン」に掲載（2023年4月）。

寄稿
投稿

01 ジュンへの感謝

清水 栄一 文・文(国文)

私は現在、三重県立紀南高等学校で再任用教諭として働いています。

ジュンというのは、私が飼っていた犬の名前です。人懐っこく利発で、とてもかわいいチワワでした。毎朝、散歩に出かけると、登校中の小学生によく会いました。小学生たちは、「わあ、チワワだ。触ってもいい?」と言って寄ってきて、触らせてあげると「ありがとう」と言って去って行きました。そんな小学生の中に、かわいらしい小2の女の子が二人いました。2人はジュンを見つけると、「ジュンくーん」と名前を呼びながら走り寄ってきて、撫でてくれました。距離にすると300メートルぐらいですが、二人の小学生と色々な話をしました。私にとっても非常に楽しい時間でした。そんな散歩が2年間続いたのですが、散歩のコースを変更したので、二人とは会う機会がなくなってしまいました。

それから8年経ったある日、ふと二人のことを思い出、「あの子たち、どうしているのだろう」と考えました。幸い、教えている生徒の中に私の自宅近くに住んでいる高3の男子生徒がいたので、二人の名前を告げて、「お前、こんな女の子知らないか」と聞いたところ、「知っていますよ。二人とも木高(もっこう)の2年ですよ」と教えてくれました。木高(もっこう)というのは、隣にある三重県立木本(きのもと)高等学校の地域での愛称です。

「へえー、あの子たちも高2なんだ。会ってみたいなあ」と思いました。

その年の秋に、ジュンが体調を崩し、翌年の2021年1月

に死去してしまいました。15年間かわいがってきた犬なので、本当に悲しかったです。私も妻もとても落ち込みました。その年の3月に人事異動の内示があり、校長から「清水先生、木本高校に異動です」と告げられました。まさかの異動に驚くとともに、あの子たちに会えるかもしれないという気持ちが胸をよぎりました。そして、木本高校の教頭から校務分掌について電話がありました。「清水先生には3年生総合学科の担任をお願いします」と告げられました。再任用教諭に担任を持たせるなんてと思う反面、該当学年にあの子たちがいるとも思いました。



元気な頃の愛犬・ジュン

4月に赴任し、3年のクラス名簿を見ると、二人の名前がありました。一人は総合学科で隣のクラス、もう一人は普通科に在籍していました。着任式の後、隣のクラスの子に声をかけました。「清水です。久しぶりですね」と言うと「は?」という顔をしました。そこで、「ジュンのおじさんです」と名乗り、マスクを外して顔を見せました。「あ!」と言って、思い出してくれ、「びっくりしました。本当にお久しぶりです」と挨拶をしてくれました。翌日の昼休みにもう一人の普通科の子を職員室に呼んだ時も全く同様の反応でした。

ところで、私の木本高校の勤務は、彼女たちが卒業するまでの1年間だけでした。彼女たちが3月に卒業し、4月から私は再び紀南高校に戻るようになったのです。これは、ジュンが私と彼女たちを合わせるためにしてくれた異動だったのでしょうか。私は心の中で「ジュン、ありがとう」とつぶやきました。死んでからも飼い主に孝行してくれたジュンに心から感謝しています。

委員A 今年3月で卒業40年。記念の何かと思っていたけど、コロナ禍が続く準備できなかったね。会報の特集さえできなかった。

委員B じゃあ今年1年かけて会員から投稿を募集して、次の号で特集にしよう。留年して1年後に卒業したメンバーもいることだし。投稿のテーマは「卒業40年にあたり」とか。

委員C でも、原稿を書いてくれる人って限られているから、簡単なコメントでもいいことにしようよ。

B アンケートも一緒にやろうか。「卒業40年。私の10大ニュース」。「卒業後あなたの人生の出来事のトップ10を伺います。10位は何ですか、1位は何ですか」って感じ。

C 40年間でいろいろあった気がするけど、10個も思いつかない。

卒業後40年間の
あなたの重大ニュースを
伺います

ある日の編集会議にて

寄稿
投稿

中大同期の横浜銀蠅 “TAKU”は今も健在だ!

経済学部産業経済学科 Mr. YZ

横浜銀蠅でベース担当の TAKU(秋葉卓志君)は経済学部産業経済学科で同じクラスだった。語学で第二外国語に中国語を選択したクラス。中大杉並高卒。

1年生の前半は時々語学の授業で見かけたが、それ以降見かけないと思ったら「ツッパリ・ハイスクールロックンロール」が大ヒット。たまげた!

最初、横浜銀蠅というバンドをやっていると聞いた時は、同期の友人と「コミックバンドじゃねえ〜」とか影で笑っていた(失礼)。サインもらっておけばよかったと思った。8年間、中大に通ったようだが卒業できなかったらしい。(これは同期から聞いた話)

ウィキペディアには中央大学杉並高校卒と記載されている。中央大学中退となっていないのは何故かな?

物静かだったのであまり話をした記憶はないけど、高級な? オーデコロンの香りが漂っており、地方出のおいらとは違うなと感じた。

横浜銀蠅は解散、再結成をしながらも現在も活動している。

誰か TAKU にコンタクトとれる人はいないかな〜。

TAKU は58卒ではないけれど、同期なので白門58会に投稿して欲しいなあ〜。

中大って案外政治・経済界以外の有名人(タレント・俳優)が出ていますよね。

TAKU 以外にもいるのではないのでしょうか。

B だったら、例として選択肢をつけて選んでもらうようにしよう。「①結婚、②離婚、③就職、④転職、⑤出会い、⑥別れ」とかね。⑤や⑥なら、誰との出会いか別れかをコメント欄に書いてもらう。

C それなら10個書けるかも。でも順番をつけるのは難しいな。

A そうだよ。「結婚」より「別れ(母親の死)」とか書いたら、読んだ友達にマザコンだと思われる(笑)。

B 確かに、女房に見られたらまずい。

C 順番はやめたら。「卒業後40年間のあなたの重大ニュースをいくつか挙げてください」。

A 賛成。

B それでは、右のアンケートを実施します。

寄稿
投稿

03 ひと夏の思い出

出口 節子 商・会計

コロナ禍で2年間に3回延期になった長女の挙式が2022年7月にやっとのこと開催することができました。2年間逢えなかった友達・親戚にもやっと逢えて、笑顔の輪が広がり何よりも長女と新郎の輝いた笑顔が印象的でした。宝物になった写真が何枚も残りました。

コロナも少し落ち着いてきたので3年ぶりに東京の両親のお墓参りにも行きました。自宅から中央大学への通学の道の途中の近くに墓地があり懐かしさでいっぱいでした。コロナが落ち着いたとはいえ、まだ会食には勇気のいる時期でいつも上京すると逢っていた中大時代の友達も「残念だけど今回は行けないわ」という方が多数でした。そんな中でも Aさんは「セツコ何時に東京に着くの?」「ぜひ逢おう」「短い時間でも楽しもう」「逢える人を捜そう」とたのもしい限り。私は韓国語を習い始めて1年3ヵ月、Aさんは韓国には年10回行くという程の韓国好き! 新大久保のおいしい韓国料理を食べようと盛り上がりました。もう1人の友達と、アメリカンフットボールをしている私の息子も誘って4人で韓国料理に舌鼓を打ちました。

長い間逢っていなかったのに、毎日逢っていた高校・大学時代の様にざっくばらんにおしゃべりできて、何よりも私のことを大切に思ってくれる、そんな仲間をこれからも大切にしたいなあと思いました。この夏は熱い想いをするワクワクドキドキした体験ができました。

卒業後40年間のあなたの重大ニュースを伺います

白門58会は昭和58年卒業または54年入学の中大OBがメンバーです。2023年3月は58会メンバーの多くが卒業40周年。就職や試験で卒業を伸ばした人も、来年3月に大半が卒業40周年となります。そこで、卒業後の40年を振り返り、みなさんのこの40年間での重大ニュースを募集します。結婚、離婚、就職、転職、あるいは大切な人との出会いや別れなど、エピソードを交えて教えてください。複数投稿大歓迎です。投稿はホームページまたは同封用紙を郵送またはFAXで。次号に掲載します。匿名可ですが、記名(掲載ok)の方は学部学科をお忘れなく。

58会と中大情報は
Facebookで



白門58会

中央大学学員会【白門58会】
水午 2月24日

こんにちは。久々に投稿しています。もうすぐ駿河台キャンパスが開校ですね。学員会事務局も飯住まいの神保町から引越しです。コロナも収まりつつありそうなので、58会でも1回くらいは会議室や19階のレストランなんか、利用したいですね。開校後は、競争率が高そうですが、さて、WBC予選プールB、始まりました。投票手、イッパイ出場して活躍してくれるといいですね！決勝ラウンドまで進んでほしいです。“怪我無く”が第一ですけど。(58会・会計)…もっと見る

12 コメント1件

中央大学学員会【白門58会】
1月19日 午後2:43

こんにちは。1/12の投稿は“51いいね”を頂きました。今まで多くても“25いいね”くらいだったのでビックリでした。“簡便駅伝効果”で…もっと見る

中央大学学員会【白門58会】
1月12日 午後2:48

明けまして おめでとうございます
今年も 宜しくお祈りします🍀…もっと見る

ブログ、ほぼ毎日更新!!

投稿募集中/
卒業40年
私の重大ニュース

投稿は同封の用紙
またこちらから



維持会費納入のお願い

白門58会は入会金・会費無料で運営しています。会の運営費は、会員の任意の維持費と会報の広告、学員会本部からの支援金などによって賄っています。維持費は会報発送費のほか、白門支援金など学員会や大学への寄付に充てています。ご協力をお願いします。

今年度は白門飛躍募金等に寄付をしています。

維持会費は 1,000円以上 協賛広告は 30,000円以上
…いずれも、いくらでも結構です。

維持会費ご協力の方には、金額にかかわらず学員会グッズを謹呈します。同封の振り込み用紙をご利用ください。

振込先

ゆうちょ銀行(武蔵府中郵便局)
00180-5-433209
白門58会(ハクモンゴハチカイ)



編集
後記

卒業40周年だったにも拘わらず、またまた、何のイベントも出来ませんでした。コロナめ!会報の記事は支部長と事務局長が頑張って企画してくれ、興味深い内容になっていると思います。皆さん読んでください!コロナも5類になるようですし、駿河台キャンパスも開校します。新校舎19階のレストランで58会の懇親会、今年はやりましょね!(会計・柳)

全国有名書店、Amazon等
インターネット書店で発売中



まんが・
イラストで
みる

江戸の暮らし
衣・食・住

「ポケット倶楽部」編集室
まんが・イラスト 桐丸ゆい

定価 1,000円(+税)

太平の世ともいわれた江戸時代、人々はどんな暮らしをしていたのでしょうか? 江戸時代の住宅や衣服、食についてのコラムやまんが、イラストが満載。衣・食・住、そして暮らしそのものに焦点を当て、江戸時代をひも解いていきます。

株式会社ノラ・コミュニケーションズ

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-14-6 アライビル 7F
TEL 03-3204-9401 FAX 03-3204-9402

諏訪書房

<https://noracomico.jp/>